

茨城中部農地整備事業所と連携した生産性の向上を目的とした学習会の開催

茨城中部農地整備事業所の国営緊急農地再編整備事業について、スマート農業の展開や高収益作物の導入等の検討・連携を図っていけるよう、事業所と茨城県拠点が共催で学習会を開催

○ 施策分類

農地整備事業、広報

○ きっかけ・背景、課題の把握

関東の食料供給基地である茨城県においても、担い手農家への農地集積・集約が急務。事業所、県拠点共通の取組課題である農地の分散や未整備などの解決に向け、農地の計画的再編、担い手への農地利用集積による生産性の向上と優良農地の確保について、関係者に広く関心を持ってもらうことを目的として合同学習会を実施。

○ 取組の内容

(座学) ・ 国営緊急農地再編整備事業「茨城中部地区」について

・ 事業概要、地域課題、事業効果等の説明

(現地) ・ 大区画化された整備後のほ場及び営農状況

・ 田んぼダムの取組

○ 効果・成果、今後の方向性

・ 参加者からは「整備事業の理解を深めることができた」「今後も透排水性の良いほ場づくりを大事にしていく」など建設的な感想が聞かれた。

・ 土地利用を計画的に再編し、担い手への農地利用集積を進めること、生産性向上と耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保など、本事業を継続して広く知っていただくことが必要。



座学の様子



説明を聞く参加者



大区画（整備後）のほ場見学



田んぼダムの設置状況

体制図

